## 305

## (1)

浮力をF[N]とすると、

## (2)

気球内部の空気の密度を $\rho'[kg/m^3]$ 、内部の空気を含めた気球の総質量をM[kg]とすると、

$$M = m + \rho'V$$
 (mは気球自体の質量)

この気球に生じる重力Gが浮力Fより小さくなれば気球は浮上するので、

G < F の関係を満たす $\rho'$ を求めたらよい。

$$G=Mg$$
 ,  $F=117.6N$  ,  $M=m+\rho'V$   $m=2.00kg$  ,  $V=10.0m^3$  ,  $g=9.8\,^m/_{S^2}$  を代入して、  $(2.00+\rho'\cdot 10.0)\cdot 9.8<117.6$   $\therefore \rho'<1.0\,kg/m^3$ 

## (3)

まず、空気の分子量
$$M_{air}$$
を求める。( $air$ :空気)

$$PV = nRT$$
 ,  $n = \frac{m_{air}}{M_{air}}$  より、 
$$PV = \frac{m_{air}}{M_{air}}RT$$
 
$$\frac{m_{air}}{V} = \frac{PM_{air}}{RT} = \rho$$
 (密度は質量/体積より) …① 
$$\therefore M_{air} = \frac{\rho RT}{P}$$
 …②

気球内の空気の温度を $T_1[K]$ 、その時の密度を $\rho_1[kg/m^3]$ とすると、

$$ho_1 = \frac{PM}{RT_1} = \frac{T}{T_1} \rho$$
 より、 (②式を①式に代入)  $ho_1 < 1.0 \, kg/m^3$  ,  $\rho = 1.20 \, kg/m^3$  ,  $T = 293K$  を代入して、  $1.0 > \frac{293}{T_1} \cdot 1.20$   $\therefore T_1 > 352K$